校長室から ひがしなら通心

（Ｈ２９年度）　茨木市立東奈良小学校　川上　隆　Ｎｏ．３１

平成２９年１０月３１日（火）発行

おめでとうございます！

２８日（土）、男女共生センターローズＷＡＭにて、第９回「伝えよう!! いのちのつながり」～「かけがえのない命」について考えてみませんか･･･～の優秀作品発表会及び表彰式（主催：茨木モラロジー事務所、後援：茨木市･茨木市教育委員会･茨木商工会議所）が行われました。

市内の小学校２０校（６年生）から１００１点の作品応募があり、入賞したのは２２作品（人）でした。（最優秀賞１名、優秀賞６名、入賞１５名）

本校からは冨原 澄さん（優秀賞：審査委員長賞）と中村 心香さん（優秀賞：モラロジー研究所賞）の２名が受賞しました。おめでとうございます！
二人の作品を紹介します。

過労死

冨原（とみはら）　澄（きよし）　茨木市立東奈良小学校　６年２組

ぼくのお父さんはいつも、朝早くから、夜おそくまで仕事をしている。もし休みで家にいても、ずっとパソコンに向かっていたり、テレビ電話をしたりしている。休みというのは、たとえ仕事をしていても、家にいることなのだろうか。お父さんが家にいて、仕事をしていない時は、とても楽しい。おしゃべりをしたり、どこかにつれて行ってもらったりして、とても楽しい。

ぼくは最近、新聞やラジオなどで、よく「過労死」という言葉を聞く。「労」は労働。いわゆる「仕事」だ。「過」は「しすぎ」。「死」は「命をおとす」ということだ。これらをつなげると、「仕事のしすぎで命をおとす」になる。お父さんは、過労死でなくなった人以上に多くの残業をしている。

お父さんは仕事でアメリカに行ったり、とてもたいへんそうだ。けれども１人に１つしかない命、「かけがえのない命」を一番大切にして欲しいとぼくは思う。

ありがとう看護師さん

中村（なかむら）　心香（このか）　茨木市立東奈良小学校　６年１組

これは、母に聞いた話です。私は、小さいころ、ぶどう球菌性熱傷様皮膚症候群という病気になったことがあると母に聞きました。そのことで聞いたことを書きます。

この病気は、ある人のおかげで、今生きることができたそうです。同じマンションに住んでいた看護師さんが、大きな病院に電話してくれて、入院することができ、その時、先生は「紹介状がないと受け入れられません」と言っていたそうです。しかし、電話してくれた看護師さんは、「大きい病院は紹介状がないと受け入れてもらえないけど、救急車をよべば、受け入れてくれるんですか」と文句を言ってくれて、緊急入院ができたそうです。この人がいなかったら、私は今ここにいないと思います。

この話は母に聞くまで知りませんでした。あの人に会えるなら、こう言いたいと思っています。「あなたのおかげで私は今、ここにいます。８年前、私を助けてくれてありがとうございます」

みんなのためのルールブック

「あたりまえだけど、とても大切なこと」　ロン･クラーク　草思社

ルール１７　整理整頓（せいりせいとん）しよう

必要（ひつよう）なものがすぐに取り出せるように、机の中はきれいに整理しておこう。

●必要のないものは処分し、何をどこに入れるかを決めておけば、自分が楽になるし、毎日を気持ちよく過ごせる。将来、きみが仕事をするときも役立つだろう。

ひ	とつにみんなでまとまろう！	あ	いさつができる子
が	くりょくと体力をのばそう！	い	っしょうけんめい勉強する子
し	っかりせいかつしよう！	う	んどうが好きな子
な	かよく友だちとすごそう！	え	がおでやさしい子
ら	んらん夢に向かう東奈良っ子！	お	そうじをがんばる子